



昔遊びについて

2年3組24番

皆さんは、昔遊びを知っていますか？

今の時代では、あまり見かけない・知らない人が多い昔遊びですが、実際にやってみると、とても奥が深いものばかりです。

今回は、そんな昔遊びについていくつか紹介します。

けん玉

まずはけん玉です。

けん玉とは、『けん』と、『皿胴』、穴の開いた『玉』でできていて、玉と皿胴は、大体40cmの糸でつながっています。

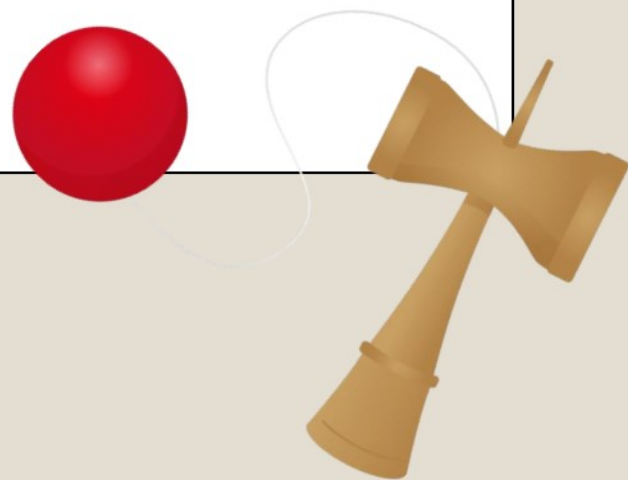
基本的な遊び方は、ペンを持つように親指と人差し指でけんを挟んで、膝を使って玉を上げ、大皿にのせます。

慣れてきたら、小皿・中皿にのせたり、けんに刺したり、技に挑戦してみましよう。

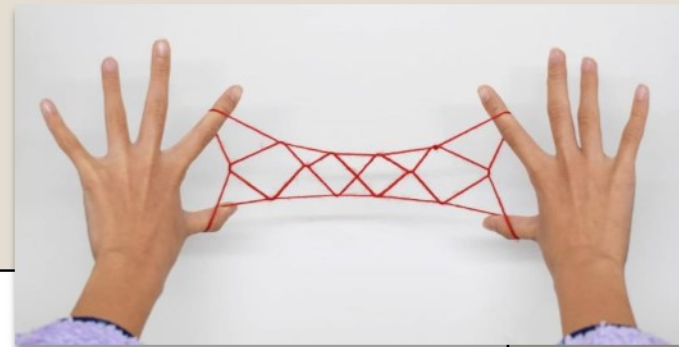
けん玉

けん玉は、1000を超える技があり、大会が開かれるほど人気で、大人も子供も楽しむことができる遊びのため、シンプルのように見えて、とても奥深いゲーム性がある所が人気のポイントです。

皆さんもぜひ、けん玉を遊んでみてください。



あやとり



あやとりとは、1本の糸の両端を結んで繋ぎ、一つの輪になったものを、両手でかけたりはずしたりして遊ぶものです。

あやとりは、一人でやる技もあれば、二人で協力して行う技もあります。そして、世界各地でも行われていて、遊びではなく占いとしても使われています。

糸で遊ぶというと、少し地味に見えると思うかもしれませんが、難しい技も多く、おすすめの昔遊びです。

おはじき

最後はおはじきです。

おはじきは、ガラスでできた、平たくてきれいな玩具です。

やり方も簡単で、おはじきとおはじきの上に、指で線を描き、欲しいおはじきにめがけて、もう片方のおはじきを弾くというもの。

弾いたときに、欲しいおはじき以外に当たってしまったり、線を描くときに指がおはじきに触れてしまうともられません。



マンカラ



そしておはじきには、マンカラという遊び方があります。

一番ベーシックなルールは、自分と相手の前にある、12個のくぼみに、石を4個ずつ置いて始めます。そして、先攻の人が、自分の6つの陣地から、好きなくぼみを選び、石を全て取り出して、右隣のくぼみから反時計回りに1つずついれていき、最後の石を置き終わったら次の人の番となります。ただし、最後の石を置く場所がゴールだと、もう一度その人の番となり、先に自分の石をなくした方の勝ちとなります。

簡単ですが、戦略的なゲームで、とても面白いです。

いかがでしたか？

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



昔遊びは、電気などの**エネルギー**を使わずに楽しめます。
また、今の遊びにも負けない奥深さをもっていて、
とても面白いということが伝わったら嬉しいです。

他にも、紹介できなかった昔遊びは沢山あるので、
気になった方は、ぜひ調べてみてください！